

ポリマーソリューション部門 Polymer Solution

部門長メッセージ



執行役員
ポリマーソリューション部門長

おまた まさひろ
小俣 昌博

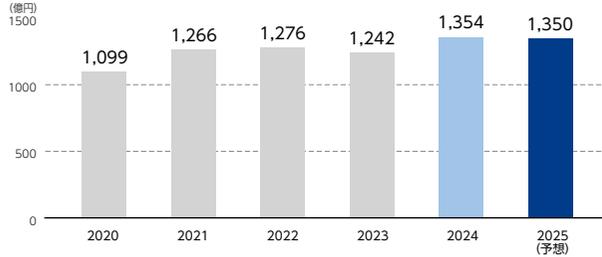
国内石化業界は、内需の減少、中国石化プラントの新增設の影響、脱炭素対応等で抜本的な構造改革が求められており、エチレンセンター統廃合や誘導品事業の撤退を含む業界再編の動きが相次いでおります。当社も、原料スチレンモノマーから食品包装容器までの一貫生産の特徴を有し、当部門の売上の大きな部分を占めているスチレン事業において構造改革が迫られております。今年度は、他社との連携やダウンサイジングを含めた事業再構築、および昨年稼働したポリスチレンケミカルリサイクル実証試験設備の安定操業と社会実装に向けた取り組みに注力し、当社のスチレンチェーンをサーキュラーエコノミーの実現に貢献する持続可能な事業となるよう努力してまいります。

経営計画「Mission2030」の目標達成に向けた戦略（「3つ星事業」100%に向けた戦略）

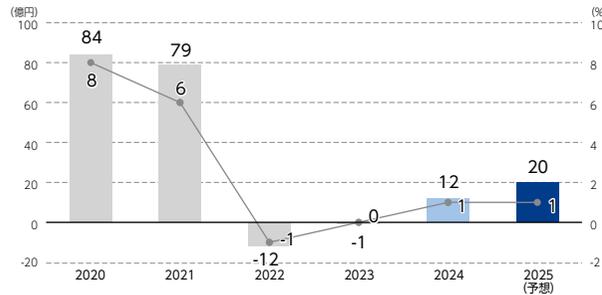
注力分野・マーケット	【主要製品】	【2024年 実績】	【2026年 計画】	【2030年の部門目標】
自動車 エネルギー産業 住宅・家電	<ul style="list-style-type: none"> ●高機能スチレン系樹脂 (MS, IP, ABS) ●油田・ガス田掘削用、建材他特殊添加剤 (ポパール) ●建築材、フレキシブル空調材、雨どい、アルミダクト (デンカアステック) 	<ul style="list-style-type: none"> ●高機能透明樹脂上市 (DSPL:MS-TX300) ●高機能ポパールの開発推進:水溶性繊維用ポパール (用途:サステナブル設計の新型洗濯洗剤等) ●新型雨どい「AR120」上市:デンカアステック ●雨水タンク「PURE EDEN(ピュアエデン)」上市 (デンカアステック) 	<ul style="list-style-type: none"> ●石化業界の趨勢を見極め、各事業のアライアンス等も視野に入れた運営形態の最適化を目指す ①スチレンチェーン構造改革 ②ROICの向上 ③地政学的リスクへの対応 ④DXの推進 ⑤新事業創出 ●サーキュラーエコノミー実現に向けた体制構築 ①顧客との水平リサイクル実現 ②資源循環システムブランド「D-NODE™」の浸透による出口拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●Portfolio transformation: ポートフォリオ改革、高付加価値化、新規事業創出、アライアンスの構築による企業価値の向上 ●Sustainable & Disruptive Innovation: 「スチレンチェーン、デンカの要素技術を最大限に活かしたイノベーション」および「M&A・外部リソース活用によるイノベーション」による新たな3つ星事業の創出 ●Ahead to Green: <ul style="list-style-type: none"> ・スチレンケミカルリサイクル ・環境対応アイテムの推進 ・川上から川下、地域社会と連携したサーキュラーエコノミーモデルの構築
食品包材 ヘアプロダクト	<ul style="list-style-type: none"> ●高機能スチレン系樹脂 (クリアレン、MS、AS) ●耐油性、高耐熱、高強度薄肉シート (BOPS) ●機能性バリアシート ●ウィッグ・ヘアピース用原糸 (Toyokalon) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポリスチレンケミカルリサイクル実証プラント稼働開始 ●千葉県市原市と使用済みポリスチレン拠点回収に関する事業連携協定を締結 ●サステナブル製品:環境配慮型素材の「バイオマスBOPS」を上市 ●生活包材部、機能樹脂部顧客との水平リサイクル実現に向けた検討を開始 ●Toyokalon事業:構造改革・高収益事業への転換を実現すべくDAPLへ生産集約を決定 	<p>未来のために資源を結ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高機能ポパールの実績拡大 ●Toyokalon事業のDAPL集約による収益拡大 	

ポリマーソリューション部門
Polymer Solution

売上高推移と見通し

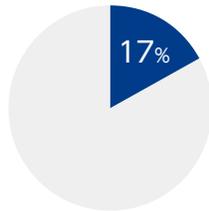
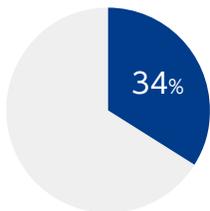


営業利益額/営業利益率推移と見通し



全体売上高に占める割合
(2024年度)

従業員数に占める人員割合
(2024年度)



SWOT分析

- 原料生産から加工製品までの一貫した製造販売体制(スチレン系製品)
- 環境対応ニーズを捉えた、樹脂および加工製品の開発
- 国内・シンガポールの2拠点体制によるグローバルな事業展開
- ポリマー構造設計・制御技術およびシート、フィルム、合成繊維まで対応する多様な樹脂加工技術
- 素材および加工製品のシナジー効果とソリューション提案、新規開発力

- 環境対応ニーズを捉えた、樹脂および加工製品の開発
- 資源リサイクルのトレンドに応える、原料から加工製品までの一貫生産体制の強みを活かしたリサイクルシステムの構築
- 多様な製品群による多用途展開
- 社会実装化に向けたポリスチレンケミカルリサイクルの実証プラントの稼働

強み **S** **O** 機会

弱み **W** **T** 脅威

- 中国における石油化学プラントの増設(世界的な需給バランスの変化)
- ナフサ、ベンゼン等の原料価格変動と製品価格転嫁へのタイムラグ

- プラスチックの環境問題による需要の減少(特にワンウェイ品)
- 国内海外競合メーカー製品の品質向上による価格競争の激化
- 各種原料調達不安定化(コストアップ、サプライチェーン)
- 世界的な石化業界再編

さらなる成長のための「投資」

- スチレンケミカルリサイクル(SCR)社会実装
- 高機能PVA製造対応設備設置
- 高機能ポリマー設備新設

既存事業強化での「キャッシュ創出」

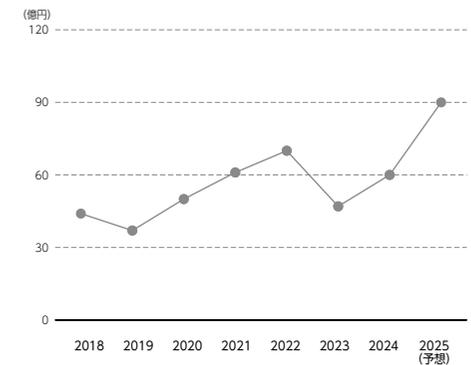
構造転換

- スチレンチェーン全体と個別最適化の組み合わせにより抜本的改革を推進
- ダウンサイジング、同業他社との生産受委託、リサイクル、物流等

ROIC改善

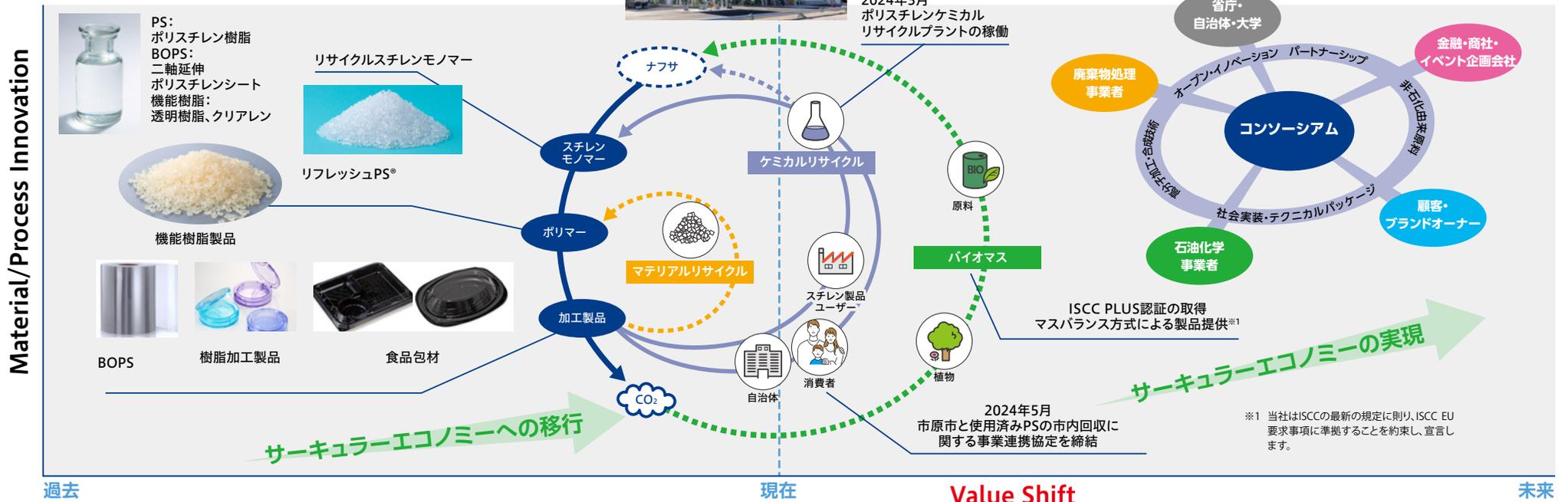
- 合理的判断による生産最適化、不採算事業の譲渡・撤退
- コストダウン及び差別化・高付加価値品投入による収益性向上

投資額推移



ポリマーソリューション部門
Polymer Solution

ポリマーソリューション全体のバリューシフト



事業を通じた社会への貢献

●デンカグループはスチレンチェーンの特徴を活かしサーキュラーエコノミーの実現を通して新しい価値を世の中に提供します

デンカと持分法適用関連会社の東洋スチレン(株)は、新たな資源循環型のリサイクルシステムの構築が必要と考え、2024年3月より千葉工場内にてポリスチレンケミカルリサイクルプラントを稼働しています。食品包材を中心とする使用済み容器(ポストコンシューマー材)や、シートや容器の製造工場(工程)から出る端材(ポストインダストリアル材)を回収し、化学的に分解してプラスチック製品の原料として再生利用する新しい取り組みであり、サーキュラーエコノミー実現のための第一歩です。この取り組みでは、千葉県市原市と事業連携協定を締結するとともに、デンカ、東洋スチレン、デンカポリマーのスチレンチェーンでのISCC PLUS認証を取得し、実効性を高めていきます。

これらの活動を推進すべく、デンカグループでは、持続可能な社会の実現を目指し、グループ独自の資源循環システムブランド「D-NODE™(ディーノード)」を立ち上げました。

「D-NODE™」を通じて、ケミカルリサイクルやマテリアルリサイクルを含む適切な方法でのリサイクルやバイオマス素材の活用(マスバランス方式を含む)により、さらなる化石由来原料の削減に貢献していきます。

[将来の動き]

デンカグループは、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、お客さま、地域社会、自治体など多様なステークホルダーが連携するコンソーシアムの構築を提案していきます。個社では実現不可能な技術開発や社会実証実験を推進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。